

平成 27 年 4 月 26 日執行

敦賀市長選挙公報

敦賀市選挙管理委員会



■ 資格 II 行政書士、土地家屋調査士、宅地建物取扱主任者、
高等学校教諭一種免許(理科)

昭和36年2月11日、九州生まれ
水瓶座・A型

昭和59年 九州大学理学部卒業
東洋紡績(株)勤務
62年 若狭松下電器(株)勤務
平成 7年 行政書士・土地家屋調査士事務所開業
8年 旬洲上測量設立
15年 粟野小学校PTA会長
19年 粟野地区子ども会育成連合会相談役
19年 敦賀市議会議員
福井県行政書士会敦賀支部支部長

3人の子供に恵まれ、
妻の両親と同居。
農業を引き継いで6年目。

Let's begin 敦賀再生

敦賀の「宝」を活かし、魅力と活力あふれる「まち」を取り戻しましょう!

① 「住みたくなる敦賀」のまちづくりを推進します!

地場産業の活性化と企業誘致を積極的に行い、若者が働ける場所を確保します。子育て支援、教育環境の向上や人材育成などの施策を実施します。健康長寿のまちを実現するため、高齢者のスポーツや文化活動を積極的に支援するとともに、医療や福祉を充実強化していきます。

② 敦賀の「宝」を活かし、地域経済の活性化を図ります!

「人道の港」として世界的に知られる敦賀港や、四季折々の美しい自然と文化など、敦賀ならではの「宝」を磨き上げて広く世界に発信し、海外からの旅客も行き交う観光都市をめざします。また、「ふるさと納税」を導入して敦賀の特産品をブランド化しながら県外にPRするほか、道の駅などを新設して農林水産業を地域ビジネスへと発展させていきます。

③ 夢と希望が膨らむ快適で便利な地方都市をめざします!

新幹線の開通を見据え、敦賀駅周辺と市街地商店街を含めた新しい都市づくり構想に着手します。敦賀駅東口から敦賀インターに直結する幹線道路の新設、「敦賀南インター」の完成に合わせ県道「岡山・松陵線」整備の加速、「東浦バイパス」の早期実現をめざします。

「市民が主役」のまちづくり

- 市内131人の区長さんの声を市政に反映し、地域創生に着手
- 安全が確認された原発の再稼働、敦賀3・4号機増設計画の推進
- エネルギーの町「敦賀」の特長を活かした新たな産業の創出
- 敦賀の歴史・自然・食文化などを活かした魅力ある観光都市の実現
- 介護予防や高齢者・障がい者福祉の充実、福祉現場で働く人たちの待遇改善
- 乳幼児保育や学童保育を拡充し、子育て世代や働く女性を支援
- 農林水産業の地域ビジネス化を支援し、次世代を担う後継者を育成



ふちかみ
たかのぶ
隆信
54歳

ふるさとに経営感覚を!!

長年にわたる企業経営の実績を活かして、ふるさと敦賀に新しい風を起こし、
次の世代に責任をもって受け継いでまいります。

やり遂げます!! 「3つの宣言」

① 革新への挑戦

- ・ 女性の起業化、まちづくり支援
- ・ 小中学校独自の学力・体力プログラム
- ・ 高等学校の進学校化
- ・ エネルギー産業の新たな分野に挑戦
- ・ 金ヶ崎周辺の整備促進
- ・ 敦賀港の物流と交流を促進
- ・ 地域経済の新たな可能性につながる企業誘致
- ・ 農業のブランド化による高付加価値商品の開発・販売促進
- ・ 生産性の高い農業経営の推進と有害鳥獣対策の拡充
- ・ 林道整備や水産資源の保全

② 安心のまちづくり

- ・ 女性が働きながら子育てできる環境充実
- ・ 医療と介護の連携「地域包括ケアシステム」
- ・ 市民総スポーツ、地域医療による「生涯健康都市づくり」
- ・ 原子力に対する全市民の安心と信頼の確保、高度で専門的な知見の活用、防災の基盤整備と訓練の実施
- ・ きめ細やかな障がい者福祉政策の実施
- ・ 空き家の有効活用

③ 市民からの信頼

- ・ 成果志向の行政サービス、持続的な財政構造の強化
- ・ 市民参加の機会拡充
- ・ 支出の抑制と将来を見すえた事業の実施による、メリハリのきいた財政運営



中村紀明
昭和二十九年十月十日生(六十歳)

中村紀明プロフィール
昭和29年10月10日(体育の日)生まれ

現在…(株)中村住設 代表取締役/氣比神宮 総代/敦賀市管工事協同組合 理事長/
敦賀市体育協会 会長/敦賀市バレーボール協会 会長/敦賀市ママさんバレーボール連盟 会長
敦賀商工会議所 議員/敦賀ロータリークラブ 会長 など…

投票日は 4 月 26 日 (日)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を原文そのまま写真印刷したものです。